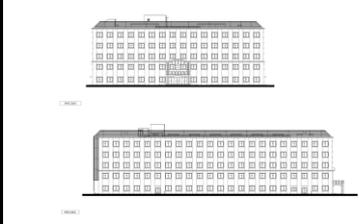


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	防大理工学館A棟新設工事	階数	地上5F
建設地	横須賀市走水1-1944-1他	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域・市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	1,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,630 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2015年4月20日
敷地面積	8,430 m ²	作成者	株式会社 慎設計事務所
建築面積	3,990 m ²	確認日	2015年4月20日
延床面積	19,780 m ²	確認者	株式会社 慎設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	88%
③上記+②以外の	86%
④上記+	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	3.9
自然エネ	3.0
設備システ	4.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.6
地域環境	2.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
耐用年数の長い配管材やLED照明の採用により、環境配慮に努めている。	0
Q1 室内環境 内装材は全面的にF☆☆☆☆を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 屋上に太陽光パネルを設置している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加え、節水便器を採用している。躯体+軽鉄+仕上材のデティールで、OAフロアを採用している。
	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす。広告物照明を行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される